

ヒマリス

あつ
一之瀬君っ！



陸上部はどうだった？
友達出来そう？

うん
先輩や顧問の先生も
優しそうだったよ

彼女の名前はヒマリ
子供の頃からずっと一緒に
いわゆる幼馴染ってやつだ
今年の春から同じ学校に通う事になった。

オレにとっては天使のような女の子だ。
この優しく暖かい陽だまりのような笑顔に
一体どれだけ癒されてきたことか。

そっか、良かったな
早く皆と仲良くなれるといいな

うんっ ありがとう
一之瀬君



他愛もない会話。
ただけどうしようもなく心が躍ってしまおう。

オレ達は付き合ってるわけじゃない。
けれど、両思いなんじゃないかなって
淡い期待をしていたりする。

この学校生活中に
ヒマリと彼氏彼女の関係になれたらな…





おれの天使のような幼馴染が
いつの間にか顧問にレイプ調教され
チンポ中毒になっていたお話。

入学式から数日後――
その日、私は部活後
顧問の先生に話があると呼び出され
体育教官室に向かった。

中学にはなかった体育教官室……
職員室とは異なる雰囲気
に萎縮する私に
先生は優しく微笑みお茶を出してくれた。



今日の走りも良かったぞ
お前には天性のスピードがあるな

あ、ありがとうございます
あの…それで先生
私に話したいことって…

まあまあ、時間あるんだろ？
とりあえずお茶でも飲んで

は、はいっ
ありがとうございます

先生が煎れてくれたのは
お花のような甘い香りのするお茶。
疲れた身体に熱いお茶が染み渡っていき、
全身が心地よさに包まれる。

どうだ？
先生特製のお茶だ
旨いだろ？

はい、美味しいです
先生お茶煎れるの上手なんですね

ははっ
美味しくなる
魔法をかけたんだ

ふふふっ

しばらく他愛のない話をしていく内に
不思議と身体が火照ってきた。

どうしたのかな？
今日は別に、
体調が悪かった訳じゃないのに…

どうした
大丈夫か？

はっ、はい…

あ、あれ？
今、何の話をしていたっけ…？

ぼん

はあ…

はっ

い、いえっ
一之瀬君とは
付き合ってる訳じゃ…
そうなれたら良いな
とは思ってますけど

なんだ
彼氏じゃないのかよ
それじゃなんだ？
キスもまだなのか？

そ、そんなっ
キスなんて、誰とも…

びて

なら先生が
指導してやろうな？

びて



そうだ、そのまま口を開け

えっ…!!?

…っ!

ちゅ

ムム

えっ…!!?
な、何をしているの…

困惑する私の口の中に
先生の厚い舌が入り込んでくる。
抵抗したいのに何故か
身体が思うように動かない…!!

せ、先生…!!
いやあつ…!!

ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ

ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ

ムムム
ムムム

ガク

ガク

てっぺん!!!

ガク

アッアッアッ

アッ

お

はー

ズ

クチュ

はあはあっ!
ヒマリのマンコは
ぷにぷにだなあ♥

ウソ…

一体何が起こっているの!?

自分でも触った事のないソコを
先生は執拗に刺激してくる。

はー
はー
んう♡やっ♡
先生っ…先生！
止めて下さい！

必死に懇願しても先生は止めてくれない。
身体がビクビクと反応してしまい
恥ずかしくて情けなくて悔しくて、
どうにかなくなってしまいたい。
なのに、経験した事のない甘い刺激に
身体が熱くなってしまう。

ああ♡はっ♡
ん♡やあっ♡

ガク

グググ

グググ

ググ

はっ

はっ

エロイ声だしやがって…
もうイキそうなんだろ!?

やああっ♡
な、何これ!?
こんなっ、こんなのっ!

おう、イケ!
イかせてやる!

あっ…ああ♡
ああああ!

クチュ♡

クチ♡

クチュ♡

ん



はははっ！
もうイったのか！

びしょ

びしょ

い、イった？
…これが？

霞がかかった頭で必死に思考を巡らす私の身体を先生は軽々と抱き上げる。そして慣れた手つきで私を机に寝かせ、両手を縛り上げていった。



ひひっw
良い眺めだ…

よし
撮影の準備もできた

TCG 00:26:42:18
HQ 1920/60P

120min
A: 67min

REC

A

On
Full Auto
White-A

CH1
CH2

ビク

ビク

胸を露にされ大きく股を開かされて
誰にも見せた事のないそこを晒される。
恥ずかしくてたまらない下品な格好。
そして、そんな私に向かって
先生はビデオカメラを構えた。

先生：
こんなの撮らないで下さいっ！
お、お願いですから
もう止めて下さいっ！

今なら何もなかったことにします…
誰にも言いません！
だから…だから…

ビク

はあ？何言ってるんだよw
今日の為にどんだけ準備してきたと思ってんだ？
さっきのお茶にたっぷり入れた
エロ薬だつて手に入れるのに苦労したんだぞ？

ビク

薬？

ひっ！

さつきも気持ちよかったらろ？
指で軽く擦られるだけで
イっちゃうくらいにな

くちゅ

スルッ

んんん

良いねえ
ぴったり閉じて
締りが良さそうだ

つて、なんだ
もう濡れてるじゃねえかw

よしよし
今 挿れてやるからな…

先生、お、お願いします…
もう止めてください…
私、私、初めてなんです…！

ズンッ

くちゅ

挿

挿

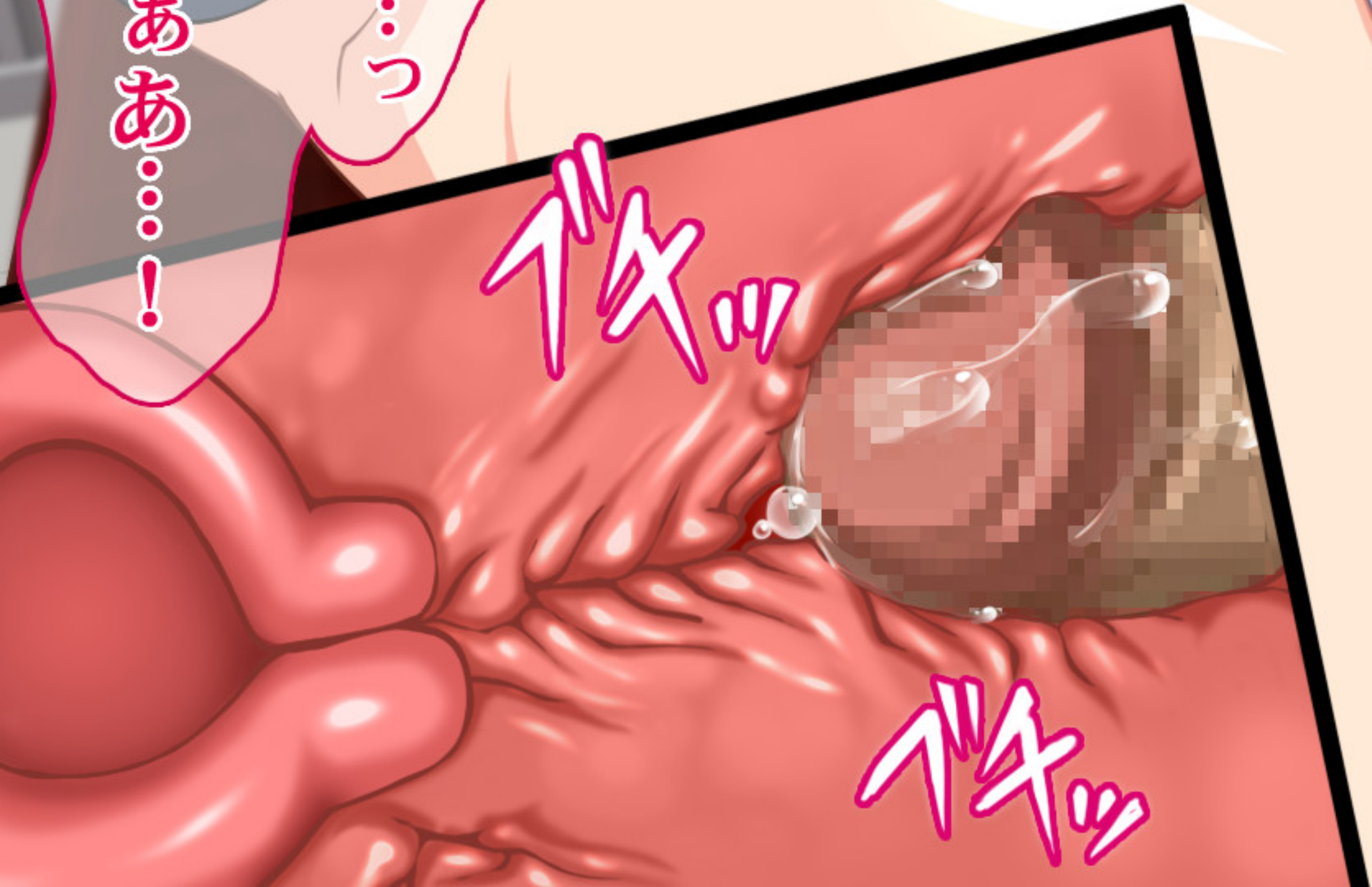
初めては好きな人に…一之瀬君にとって…
だ、だからそれだけは…
それだけは許して下さい！

初めて?
そりゃあ良い...

あ
あ
あ



やめ...やめてくださっ...っ
せ...っ先生...
いやっ...いやあ...!



グッ

グッ

おおつ、狭い、狭いなあ！
チンポに絡み付いてくるぞお！

おっふ！！

あ

あ

ズズズ

あ
あ
あ



凄まじい圧迫感に一瞬息ができなくなる。
痛い…！ 痛いはずなのにどうして!!?
自分でも制御できない初めてのの
感覚が身体の奥から沸き起こる！

うああッ…いやあッ
ア、アソコに入って…
ああッ！

はあっはあっ…！
ギチギチに締まっってたまらねえっ！



ひゃあぁあぁあ

駄目、動かさないでえ！

ははっ！そうイヤがるなよ！
これなしじゃいられなくなるように
キツチリ仕込んでやるからな！

ズグ

ズグ

ズグ

ビク

ビク

あッ♡ああ…っツ♡
イヤっ♡イヤ、イヤああああ！
あたまっ♡変になっひゃう♡

先生は激しく腰を動かして、執拗に奥を突き上げてくる。先生の言っていた薬のせい？ 気を失ってしまいそうなほどの強烈な快感が全身を支配していく！

やああつ
何かくりゆつ
きちや…つ

ズ
ズ

ズ
ズ

ズ
ズ

はひいつ♡

ああつ♡

先生ツも…駄目つ♡
変になりゆつ♡ひああつ♡

ビク

あ

ビク

ぐ、エロっ！
たまんねえ！
ひひひっ オラ
イクぞ！

やめっ！
ああああっ♡

出すぞ！
処女マンコに中出しだああ！

やらあっ！
中っ やめてえっ！

ズグ

ズグ

ズグ

ビク

あ

あ

ビク



はぁあぁ♡♡♡

あぁあぁあぁ

やっ

あぁあぁあぁ

ドドド

ひあああああああッ!
アッ あああアアア!

あぁあぁあぁ

あぁあぁあぁ

ひひひっ どうだ
初めての精子の味はあ？

ひっ
ううツ...

こんなの...酷い...
ああ、でも...やつと終わった...
終わってくれた...

おて、それじゃ...

ガク

ガク

おて

おて

おて

おて

まだまだまだ楽しませて
もらおうか！

やっ
いっ
やっ

ズ
ン
ッ

ぐ
ちゅ
っ

放心状態の私に突き当てられた凶器。
一度射精したにも関わらず
隆々と勃起するそれは
私を再び悪夢のどん底に突き落とす。

お願いです！
もうこれ以上は……！！

それから…

あ……は……
ううツ ああ……

ふうう…良かったぜえ…
ヒマリ

少しの休む間もなく私は先生に嬲られ続けた。
情け容赦ない激しい性交に意識は朦朧として
何も考えられない。

ヒマリちゃんよお…
お前はオレ好みの女に
徹底的に仕込んでやるからな
楽しみにしとけよ？

あ…ああ…
は、はい…
わかり…ました…

何を言われたのかもわからないまま
私はただ、反射的に返事をしていた……

